

# 蔵王町の地域学校協働活動

## 1 今年度の事業への取り組みについて

蔵王町の地域学校協働活動では、地域・家庭・学校が連携し地域全体で子供を育てることを目的とし事業を展開している。令和7年度も前年度に引き続き、多種多様な技能を持ち合わせたボランティアで組織している「ごおうっ子応援団」の体制を整えながら学校教育支援活動に力を入れ、事業を展開している。

## 2 地域学校協働本部について

現在、蔵王町には地域学校協働活動本部が設置されていないが、地域学校協働活動推進協議会を組織しており、本部としての機能を果たしている。地域コーディネーターについては2名を常勤で配置している。

## 3 事業紹介

### (1) 家庭教育支援

事業名	内容	備考
子育てサポーターチーム「すまいるハート」の活動	今年度は講演会時や公民館講座における託児や昨年度に引き続き、子育てサポーターの活動周知のために手書きのメッセージカードを作成し、乳幼児健診の際に保護者に渡した。 また、会員の資質向上のために子育て支援施設への視察研修会も行った。 ほか、県主催事業への参加とチーム内での定例会を行った。	現在、17名の子育てサポーターが登録。
公民館講座「リフレッシュ♪ママカフェ」	今年度のママカフェは4回開催予定。育児で毎日忙しい母親にリフレッシュしてもらおうと同時に学びの場を提供し、その間子育てサポーターは託児を行っている。	【開催】 7月、11月、12月 【開催予定】 2月
家庭教育支援だより	保護者へ向けた家庭教育情報を掲載した家庭教育だよりを発行予定。	



【子育てサポーターの活動】

## (2) 地域活動支援

事業名	内容	備考
ジュニア・リーダー事業・研修会	地域子ども会活動の支援及び地域活動の活性化を目指し、中高生を対象に研修会を実施し、次世代リーダーとしての知識や技術の習得を目指す。 イ) 初級研修会 【期日】6月28日(土)～29日(日) 【会場】松島自然の家 【参加】13名 ロ) 子ども会活動や地域活動の支援	町育成会との共催事業 イ) 子どもの理解、ジュニア・リーダーの役割について学び、必要な基礎知識や技術の習得を目指す。 ロ) 町内5つの支部が各地区児童館を拠点に児童厚生員の指導のもと地域活動に参画。
インリーダー研修会	小学4～6年生を対象に子ども会リーダーとしての知識や技術の習得を目指す。 【期日】7月26日(土)～27日(日) 【会場】松島自然の家 【内容】レクリエーション、海遊びほか 【参加】32名	町育成会との共催事業
世代間交流事業	各種団体等と共催し、広い世代の参加を呼び掛け、交流を深める取組を実施。 永野地区ふるさと伝承教室 【期日】6月8日(日) 【会場】円田小学校体育館 【参加】39名 ほか、宮地区モルック大会・永野地区ふるさと伝承教室・円田地区凧あげ大会等	地区公民館・育成会・母親クラブ・PTA等と共催
蔵王町子ども会大会	子ども会会員、ジュニア・リーダー、成人指導者が共通の体験活動を通して、交流と親睦を深める。 【期日】10月12日(日) 【会場】国営花山青少年自然の家南蔵王野営場 【内容】レクリエーション・ニュースポーツ 【参加】26名	町育成会との共催事業
ざおうっ子伝承芸能発表会	民俗芸能について理解を深めるとともに、会員相互の交流と親睦を深める。 【期日】11月2日(日) 【会場】蔵王町ふるさと文化会館 【参加】89名	蔵王町子ども伝承・創作芸能推進協議会との共催



【ジュニア・リーダー活動】



【円田地区むかし遊びフェスティバル】



【伝承芸能発表会】

### (3) 学校教育支援

事業名	内容	備考
本の読み聞かせ	本好きな子供に育ててほしいという願いを込めて実施。読み聞かせをとおして、本との出会い、友達との共通体験を得ることができる。	町内全小学校で月1回～2回程度、読み聞かせボランティアを中心に活動。 【実績】(12月末現在) 支援件数：33件 支援者数：延べ122名
登校指導・見守り	児童が安全に登校できるよう指導・見守りを行う。	町内2校(円田小学校、宮小学校)区で実施。 【実績】(12月末現在) 支援件数：134件 支援者数：延べ141名
学習支援活動	町内の小中学校における学習支援(指導・補助)を行う。 【国語】毛筆指導、蔵王町に伝わる昔話 【社会】蔵王町の歴史について、蔵王町の産業について、蔵王町の公共施設について 【理科】流れる水のはたらき、地層の学習 【総合的な学習ほか】福祉体験、地域を知る学習、田植えの学習、稲刈り、防災教室、熊の学習、施設見学ほか	町内全小中学校にて実施。 【実績】(12月末現在) 支援件数：54件 支援者数：延べ121名
校外活動支援	町内の小中学校における校外学習の支援(指導・補助)を行う。 登山指導 ほか	町内全小中学校にて実施。 【実績】(12月末現在) 支援件数：4件 支援者数：延べ13名
キャリア教育	中学生が町内の事業所等において職場体験を実施するに際し、事前学習として「マナー講座」、「キャリアセミナー」を実施。社会人との関わりを持つことで、将来の自分を深く考えるきっかけを作る。	町内全中学校で実施。



【地層の学習】



【キャリアセミナー】



【福祉体験】

#### (4) 放課後子ども教室

事業名	内容	備考
放課後子ども教室	児童の安全安心な活動拠点（居場所）を設けると共に、地域ボランティアからの協力を得て体験活動や創作活動を提供している。 【期日】6月26日（木）ほか 【会場】小学校 【内容】創作活動 【参加】延べ75名	



## 4 成果と課題

### (1) 成果

家庭教育支援活動では、子育てサポーターの活動周知のために引き続きメッセージカードを作成し、乳幼児健診の際に保護者に渡した。子育てサポーターという身近な存在が活動していることを知ってもらい良い機会となっている。地域活動支援では、行事をとおして世代間の交流を促すことができた。また、ジュニア・リーダー活動においては、体験活動や企画力を養うための活動を行った。意欲的に活動に取り組む姿が見られた。学校教育支援、放課後子供教室では、「ざおうっ子応援団」の登録者を数多く活用し、子供たちの「学ぶ意欲向上」と地域住民と子供がつながる橋渡し役を担うことができた。活動に携わるボランティアの方々は、自分の知識などを生かし、子供たちや地域に必要とされること、感謝されることに大きな喜びと生きがいを感じている。

### (2) 課題

家庭教育支援活動では、子育てサポーターが主体となる能動的な家庭教育支援を実践できるようサポートしていくことや子育てサポーターの活動意欲を維持するための取組も必要だと考える。また、家庭教育全般における情報の発信方法も今後の課題である。地域活動支援では、人材の育成と同時にその人材が活躍できる仕組み・枠組みの構築が必要であるとともに、必要課題だけでなく、欲求課題を満たすことが出来る活動を検討していく必要がある。学校教育支援では、現在依頼するボランティアに偏りがあるため、特定の人材だけが出来る活動ではなく、より幅広い人材が活躍できる活動を地域・家庭・学校の連携により考えていく必要がある。さらに、ざおうっ子応援団に登録しているボランティアの方々の活動における個人の資質向上のための研修会を行い、より質の高い支援活動を行ってきたい。放課後子ども教室は、年間に行っている回数の少なさとボランティアの組織化が課題と考える。放課後児童クラブや小学校と連携を取りながら今後の開催時期、内容、ボランティア組織化の土台作りを考えていきたい。

## 蔵王町 蔵王町立平沢小学校(総合的な学習の時間)「福祉体験」

- 市町名 蔵王町
- 学校名 蔵王町立平沢小学校
- 期 日 令和7年10月29日(水)
- 内 容 福祉について体験しよう
- 講 師

蔵王町社会福祉協議会 大沼 卓也 氏

### ○指導補助

蔵王町社会福祉協議会 畠山千賀子 氏

小野 聡 氏

関根 洋平 氏

特別養護老人ホーム楽園が丘

奥村 洋士 氏

在宅複合型施設ぞおうの杜あおそ館

川村 敬 氏

放課後等デイサービス ココシフレ蔵王

平間 嘉 氏

- ・ミニコンをよけながら車いすを操作するのが難しかった。
- ・車いすに乗っている人がいたら助けたいという気持ちはあるけれど、もしかしたらその人にとっては自分でできること(困っていることではない)かもしれません。車いすの方ができるとかどうか、ありがた迷惑にならないように、相手の気持ちを考えて行動したいです。
- ・車いすを操作していると、腕が痛くなってきて、とても大変でした。
- ・知り合いが乗っている車いすみたいに電動のものもあるから、たくさんの種類の車いすがあるのだなと思いました。
- ・車いすのスポーツ等についても調べてみたいと思いました。



### ○児童の声

- ・実際に車いすに乗って体験することで、操作も分かったし、実際にどのように補助すればいいかも分かり、とても勉強になりました。
- ・車いすに乗っていると、意外に怖いことが分かりました。補助する人の声掛けがとても大事だということが分かりました。

## ○講師から

福祉教育学習では、キャップハンディ体験を通して、福祉について考えてもらっています。「福祉」を言葉で説明しても理解が難しい面もあるため、実際の体験を通じて、「人」と「人」との関わりの中で「思いやりの心」や「気付きの心」など相手の気持ちを少しでも感じてもらうとともに、自分自身の日常生活の中で、福祉は身近にあるものだと思ってもらうきっかけとなればうれしく思います。

(蔵王町社会福祉協議会 大沼 卓也)



## ○教職員の声

今回は、お忙しい中、多くの方々に御来校・御指導いただきましてありがとうございました。今回の体験を通して、普段見ている児童の姿とは、またちょっと違う姿を見ることができました。実際に児童自身が車いすに乗ることで、車いすの方がどのようなことに対して困って不便さを感じ

ているのか、また反対に、補助される側も体験し、補助の仕方によっては不安な気持ちになってしまうことも感じる事ができたと思います。

今回の体験により、相手の気持ちを考えて行動することの大切さに改めて気付いた児童もいたと思います。人によって困り感は異なると思いますが、困っている人を見かけたときに、自然と声を掛けたり寄り添ったりできるような児童を育てていきたいと思っています。

「ふだんの くらしの しあわせ」を目指して。

(教諭 大沼 貴史)



## ○大河原教育事務所から

学校と地域が連携・協働し、地域の子供たちのために主体的に活動している皆様の思いが、子供たちの学びや気付きへとつながる素晴らしい機会だと感じました。



# 蔵王町立円田小学校

〒989-0821 宮城県刈田郡蔵王町大字円田字堀の内28 児童数 79名  
TEL 0224-33-2036 FAX 0224-33-2596

## 地域と連携した教育活動(地域学校協働活動)

### 学習支援



地域の方がゲストティーチャーとなり、書写の学習に励んだ。

### 読み聞かせ



紙芝居や本の読み聞かせを聞き、読書に慣れ親しんだ

### 総合的な学習



地元の史跡を訪れ、郷土の歴史について学んだ。

### 志教育



クラシック音楽に触れ、バイオリンの演奏に挑戦した。



# 蔵王町立平沢小学校



## 学校林を活用した交流学习



(大河原産業高校との異校種交流)

## ふるさと教室



(ふるさとへの誇りと愛着を醸成する地域の産業やよさを知る学習)

## 蔵王みらい学園都市構想



(生活科及び総合的な学習の時間における「探究の学び」の充実による「自ら課題を見付け主体的に解決する子供」の育成)



# 蔵王町立永野小学校

〒989-0821 宮城県刈田郡蔵王町大字円田字北浦1 6番地 児童数 94名  
TEL.0224-33-2014 FAX.0224-33-2593

## 交流活動



6年生による練馬区豊農小学校とのオンライン学校間交流、低学年によるこども園や蔵王高校との交流など、発達段階に応じた交流活動を行っています。

## 体験活動



稲作体験や梨栽培、地域探検など、地域の特色を生かした体験活動により、ふるさとの特色や良さに気付く学習を推進しています。

## 地域ボランティア



読書ボランティアによる読み聞かせや地域の方を講師とした特別授業など、児童の学ぶ意欲の向上に役立っています。



# 蔵王町立宮小学校

〒989-0701 宮城県刈田郡蔵王町宮字井戸井99番地 児童数 161名  
電話 0224-32-2004 FAX0224-32-2008

## 田植え体験



学校近くの田んぼをお借りして、田植え体験を行いました。

## 朝読書の読み聞かせ



1・2年生に朝読書の時間に様々な本を紹介していただきました。

## スキー教室



スキー教室はたくさんの方々の協力に支えられています。



# 蔵王町立遠刈田小学校

〒989-0916 蔵王町可成路70周年ロコマー7  
宮城県刈田郡蔵王町遠刈田温泉字小妻坂山 25  
Tel 0224-34-2104 FAX 0224-34-2163  
HP: http://togatta-es-zaō.ed.jp/  
児童数 60名  
P会員数 47名

学校教育目標  
【知・徳・体】の調和のとれた  
人間性豊かな児童を育成する。

### トランペット鼓笛隊



運動会や蔵王エコーライン開通式、温泉街パレード、大道芸フェスティバルとこけし祭りの際のステージ発表等で遠小の伝統を披露し、地域に貢献しています。

### 全校縦割活動



班ごとに1年間の計画を立て、縦割清掃や縦割遊びの活動を行い、異学年間の交流を充実させています。

### 読み聞かせ



朝の活動時に、ボランティアの方々や年間15回お出でいただき、読み聞かせを行っています。子供たちの学びの基礎と非認知能力を高めています。



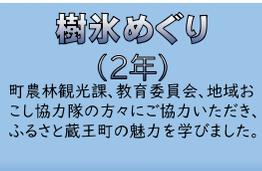
# 蔵王町立宮中学校

優しく・賢く・遅しく  
宮中は地域と共に歩み、地域に根ざした学校を目指しています



### 蔵王「PR活動」 (3年)

町農林観光課、教育委員会、町内事業所と連携し、新浦安駅前PR活動を実施しました。蔵王町の観光資源の紹介やパンフレットの配布などを行いました。



### 樹氷めぐり (2年)

町農林観光課、教育委員会、地域おこし協力隊の方々にご協力いただき、ふるさと蔵王町の魅力を学びました。



### 蔵王を知る研修 (1年)

教育委員会、町内事業所と連携し、ふるさと蔵王の自然・歴史・文化・産業について自らテーマを決めて学習しました。

### トークフォーカス (学校運営協議会)

学校運営協議会では、宮小CS、町教育委員会と連携し、地域について語り合う場を設定しました。中学生、高校生、保護者、地域の方々から自由に地域の現状と将来について話し合いました。




# 蔵王町立遠刈田中学校

〒989-0916 宮城県刈田郡蔵王町遠刈田温泉字小妻坂山16  
TEL 0224-34-2203 FAX 0224-35-3139  
生徒数 40名

### 全校生徒による遠刈田太鼓



上級生から下級生に受け継がれる「遠刈田太鼓」、練習の成果を遠中祭で遠刈田温泉の素晴らしい景色を伝える活動を行いました。

### 修学旅行「ふるさとPR活動」



地域の方々の協力をいただき、修学旅行先で遠刈田温泉の素晴らしい景色を伝える活動を行いました。

### 蔵王の自然を体験する活動



登山、スキー、樹氷めぐり、地層学習など、地域素材である蔵王の自然を体験する活動を行いました。

### 地域人材による特別授業



地域の人材を活用して、琴、書写、人権、食育など、様々な分野の特別授業を実施しました。



# 蔵王町立円田中学校

〒989-0831 刈田郡蔵王町大字平沢字伊原沢下23  
電話 0224-33-2028 FAX 0224-22-7016  
生徒数 120名

<h3>蔵王を知る</h3> <p>地域の学び支援ボランティアの方々と連携し、地域の施設や蔵王の産業・自然・歴史等について訪問等をおとして学びます。</p>	<h3>蔵王を体験する</h3> <p>蔵王町教育委員会生涯学習課と各事業所等と協働し、セミナーや体験活動を取り入れたキャリア教育を推進しています。</p>	<h3>蔵王を発信する</h3> <p>町農林観光課、地域事業所等と修学旅行先(令和7年度は東京都浦安)と連携し、蔵王町の観光資源や特産物をPRしています。</p>	<h3>地域や小・高との連携</h3> <p>地域住民と防犯関係機関や小中高連携の防犯啓発活動を通じ、社会の一員としてよりよく生きることの大切さを学びます。</p>
--	--	--	--